

理学療法学専攻 履修系統図 (2020年度～2024年度以降入学者)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)		DP(ディプロマ・ポリシー)とカリキュラムの関連表
①【多様性の理解】適切な理学療法を提供するために、対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者一人ひとりの背景や価値観の多様性を尊重することができる。		
②【コミュニケーション力】対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者の理解に努め、自らの考えを適切に伝えることができる。		
③【専門知識と技術の活用】理学療法士として必要な専門知識と技術を習得し、安全に実施、活用することができる。		
④【課題発見・解決能力】現状を分析し、目的や課題を明らかにした上で、科学的根拠と論理的思考をもって解決に向けて柔軟に取り組むことができる。		
⑤【能動的に学び続ける力】医学・医療の進歩ならびに理学療法士に求められる社会のニーズの変化に対応するために、自ら積極的に学び自己研鑽を継続することができる。		
⑥【地域社会に貢献する姿勢と意欲】地域社会に根差したリハビリテーションの実践を通して、地域社会に貢献する理学療法士としての役割を理解することができる。		

科目分類の学修・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP	DP	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤	⑥	
【総合教育科目】 深い人間理解と社会の認識を現場に活かす能力	導入基礎科目	学びの技法 理解と表現 社会貢献の方法と実践 情報学							○					○	
	人間の理解	心理学 倫理学	応用倫理学 思想の歴史 歴史学						○						
	社会の認識	社会調査法	北海道の医療と社会・経済	現代の社会と人間 文化人類学								○		○	
	自然の探求	生命科学概論 自然科学概論 統計学 生物学	基礎生化学 物理学		スポーツ・レクリエーション学							○			
	英語科目	基礎英語	英会話		英語ライティング 保健医学英語Ⅰ	保健医学英語Ⅱ					○				
【基礎医学】 人体の構造・機能・動作を学ぶ		人体構造機能学Ⅰ(筋・骨関節系) 人体構造機能学Ⅰ(神経系)	人体構造機能学Ⅰ(内臓・脈管系) 人体構造機能学Ⅱ(筋・骨関節系) 人体構造機能学Ⅱ(神経系) 運動学 運動学演習 人間発達学	人体構造機能学Ⅱ(内臓・脈管系) 老年学	人体構造機能学実習							○	○		
	【臨床医学】 リハビリテーションの基礎を学ぶ	リハビリテーション概論		精神障害基礎論 医学概論 周術期医療基礎論 内部障害基礎論 運動器障害基礎論 中枢神経障害基礎論 発達障害基礎論 臨床心理学	薬理学概論 医用画像解析学概論	医療安全管理学					○				
	【保健医療福祉とリハビリテーションの理念】 健康増進のための障害予防リハビリテーションを学ぶ		健康増進障害予防概論		福祉介護概論 在宅リハビリテーション学 言語聴覚療法概論 健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)		公衆衛生学 健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)					○			○
【基礎理学療法】 療法士としての関わり方の基礎を学ぶ		理学療法概論			日常生活活動学(理学療法)	物理療法学 義肢装具学(理学療法)			○		○				
	【理学療法評価学】 講義・演習を通し検査方法を学ぶ			理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法基礎評価学Ⅰ演習	理学療法基礎評価学Ⅱ 日常生活活動評価学 日常生活活動評価学演習						○	○			
	【理学療法治療学】 治療までの流れを学習し、実践する				神経障害理学療法学 神経障害理学療法演習 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法演習Ⅰ 内部障害理学療法学 内部障害理学療法演習Ⅰ	神経障害理学療法実習 運動器障害理学療法演習Ⅱ 内部障害理学療法演習Ⅱ						○	○		
	【地域理学療法学】 地域に貢献する能力や、保健・福祉・介護における支援について学ぶ					地域理学療法学 生活環境学(理学療法)						○			○
	【理学療法臨床実習】 対象者を前に実践する	臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法)				臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法)	臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)		○	○	○	○	○	○	○
	【応用理学療法】 キャリアの育成・卒業研究				理学療法ゼミⅠ(※通年科目) スポーツ傷害理学療法学 高齢者理学療法学 神経筋疾患理学療法学	ケーススタディー 理学療法研究法	理学療法研究法演習(卒業研究) (※通年科目)	理学療法管理学 理学療法ゼミⅡ 神経障害理学療法特論 運動器障害理学療法特論 内部障害理学療法特論				○	○	○	
	【応用リハビリテーション】 知識を生活に応用する・国際的に貢献するための素養を深める					生活行為向上リハビリテーション論		国際医療支援論	○						○